

- 問1 1955年から2005年までの日本の国内貨物輸送量の推移を説明した記述として、統計上の傾向と一致するものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- 船舶輸送が衰退する一方で、鉄道輸送が長距離輸送のシェアを独占するようになった。
 - 鉄道輸送の割合が大幅に減少し、自動車輸送と船舶輸送が輸送の主軸となった。
 - 高度経済成長期以降、すべての輸送機関において輸送量が均等に分散されるようになった。
 - 自動車輸送は旅客輸送では主流となったが、貨物輸送においては鉄道輸送が現在も過半数を占めている。
- 問2 2017年の産業別就業者数の統計において、東京都、大阪府、福岡県といった大都市圏のほかに、北海道や沖縄県でも第3次産業の就業者が全体の75%以上を占めています。北海道や沖縄県でこの割合が特に高くなっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- 広大な土地を利用した大規模な機械化農業や酪農が産業の中心であるため。
 - 豊かな自然環境を活かした観光業やサービス業が発展しているため。
 - 臨海部に多くの工業地帯が形成され、製造業の雇用が大きいため。
 - 豊かな水産資源を背景とした水産加工業などの製造業が盛んであるため。
- 問3 成田国際空港や関西国際空港の貿易統計を確認すると、輸出額の上位に集積回路（IC）などの電子部品がランクインしています。このように、集積回路が船舶ではなく航空機による輸送に適している理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- 日本の法律により、半導体製品の輸出は安全保障上の理由から空路のみに制限されているため
 - 海水や潮風に触れると回路が腐食し、製品としての機能を完全に失ってしまうため
 - 製品のサイズが非常に大きく重量があるため、船舶の積載スペースを確保するのが困難なため
 - 製品の重量に対して価格が非常に高く、スピードが重視される高付加価値の商品であるため
- 問4 1980年代後半以降の日本では、円高の影響などによって国内の企業が工場などの生産拠点を海外へ移転させる動きが加速しました。これにより、国内の製造業が衰退し、雇用機会が失われたり技術力が低下したりする問題が発生していますが、このような現象を何と呼びますか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- 貿易の自由化
 - 経済のサービス化
 - 食料自給率の低下
 - 産業の空洞化
- 問5 「育てる漁業」の一環として行われる栽培漁業の仕組みや目的について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- 日本の排他的経済水域の外にある公海において、大型の漁船を用いて大量の魚を捕獲することを目的としている。
 - 出荷まで一貫して生け簀の中で管理することで、赤潮などの自然災害の影響を完全に排除することを目的としている。
 - 外敵に襲われやすい稚魚の時期だけ保護して放流することで、海全体の資源量を増やすことを目的としている。
 - 稚魚を放流した後、その魚が成長して戻ってくるまで付近の海域での漁獲を一切禁止する制度である。
- 問6 過疎・高齢化が進行する山間部の自治体において、唯一のガソリンスタンドが経営難から閉鎖の危機にあります。このような事態に対し、地域社会や行政が生活インフラ維持のためにとるべき対策として、現代の日本で行われている取り組みに合致するものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- 市場原理にすべてを任せ、採算の合わない事業所は速やかに閉鎖させる。
 - 都市部での店舗間競争を制限し、その余剰利益を山間部の住民に直接給付する。
 - 自治体が施設を建設し、運営を民間や住民組織に委託するなどして持続を支援する。
 - 若年層の減少のみを課題と捉え、高齢者の移動手段に関する予算をすべて廃止する。
- 問7 東京都23区のように、夜間人口に対する昼間人口の比率が100%を大きく上回る地域が見られる一方で、埼玉県などの周辺の県では100%を下回る傾向があります。このような現象が起こる背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- 周辺県では近年、大規模な工場や事業所の誘致が進んだことで、都心部から周辺県へ通勤する人が急増したから。
 - 都心部は大学や事業所が集中しており昼間の活動人口が多いが、住宅地価格が高いため居住地を周辺県に求める人が多いから。
 - 都心部は周辺県に比べて住宅地価格が安いため、夜間に居住する人口が昼間の活動人口を上回っているから。
 - 都心部では夜間人口を増やすための住宅開発が優先された結果、オフィスビルが減少し、昼間人口が減少しているから。
- 問8 日本の貿易における成田国際空港の特色について、貿易額の推移や内訳を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- 輸出額と輸入額がほぼ同等であり、主に原油や鉄鉱石などの工業原料を扱っている。
 - 輸出額よりも輸入額の方が大きく、医薬品や電子部品などの高付加価値製品を多く扱っている。
 - 近隣の東京港と役割を分担しているため、貨物ではなく旅客輸送の収入が貿易額の大部分を占めている。
 - 輸出額が輸入額を大きく上回っており、主に完成車の輸出拠点として機能している。
- 問9 地方都市において、伝統的な製鉄技術を持つ企業や中小企業グループが大学と協力し、航空エンジン用の先端金属素材の研究や人材育成に取り組む事例が見られます。このような「産学連携」が行われる主な目的として、地域の課題解決の視点から最も適切な説明を選んでください。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- 研究開発の場を大学だけに限定することで、企業の製造コストを削減し利益を最大化すること
 - 伝統技術を観光資源としてのみ活用し、外部からの観光客誘致による収入増加を目指すこと
 - 既存の製造業をすべて農業に転換し、食料自給率の向上と環境保護を両立させること
 - 新たな産業を創出して地元の若者に雇用の場を提供し、地域外への人口流出を防止すること
- 問10 日本の発電方法に関する統計において、山間部の河川付近に多く分布し、日本の総発電電力量に占める割合が約1割程度となっている発電方法として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- 水力発電
 - 火力発電
 - 太陽光発電
 - 原子力発電
- 問11 東日本大震災後の日本のエネルギー政策において、原子力発電への依存度を低減させると同時に、地球温暖化対策として普及が急がれている「新エネルギー（再生可能エネルギー）」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 太陽光・地熱・風力
 - LNG・バイオマス・シェールガス
 - 石油・石炭・天然ガス
 - 水力・火力・原子力
- 問12 日本の都道府県別の就業者構成を分析した際、東京都や大阪府などの都市部で特に高い割合を示す産業区分があります。卸売業や小売業、医療・福祉、情報通信業に従事する人々が含まれるこの産業区分の特徴について、正しい説明を選びなさい。 (2018年 京都府公立入試 類似)
- 自然に働きかけて資源や作物を採取し、生活の基礎を支える産業
 - 原材料を加工して機械や建物を造り出し、物質的な豊かさを生む産業
 - 物資の輸送、情報の提供、商品販売などのサービスを提供する産業
 - 地下資源を採掘し、エネルギーを供給することで産業全体を支える産業